



秋竹小 学校だより

第142号 平成26年12月4日

一枚の曆を揺らすすきま風

## 秋竹カーニバルに向けて

10日(水)に予定されているカーニバルに向けて、6年生を中心に準備を進めてきました。今年も6年生が考えた新しい種目(Sとり)が取り入れられ、子どもたちは練習に力が入ります。

2日(火)は、冷たい風が吹き、冬本番を思わせる天候でしたが、6年生がラインを引いたり実際に競技を試したりして、翌日からの練習に備えてくれました。秋竹のなかまが楽しく、そしてルールを守って競技できるようにと、がんばってくれています。そんな6年生と一緒に活動できるのもあと4ヶ月。本番ではどの子も楽しめるよう、練習に精一杯取り組んでほしいと思います。

ラインを引いた後、体を動かすねらいもあって、楽しく競技をする6年生。子どもと一緒にライン引きをする大藤先生。



12月3日  
初めての練習  
～バームクーヘン～  
昨年度の新競技です。



12月3日  
初めての練習  
～ものとり～  
1年生も負けじと参加

## 図書委員会読み聞かせ

12月2日、図書委員会による2回目の読み聞かせがありました。今回は5・6年生が担当で、人権週間にふさわしく「いっしょだよ」という本を選んでの読み聞かせでした。

「みんなだれもが ちがうものどうし  
ひとりのだれかと ひとりのだれか  
ひとりと ひとりが いるから いっしょ」  
というところで、友だちの顔がうかびました。

みなさんは、どうでしたか。

という図書委員会の代表(6年)の言葉で締めくくりとなりました。なかまを大切にできる秋竹っ子であってほしいと願っています。

## 「昔のくらしと生活道具」 出前授業がありました

2日(火)美和歴史民俗資料館の学芸員さんに来校していただき、3年生の子どもたちが出前授業を受けました。

3年生は、社会見学で北名古屋市の歴史民俗資料館に出かけて、昔の道具や生活用品について学習してきましたが、今回の出前授業は、もう一度昔の暮らしについて確かめるよい機会となりました。3・4年学習室に展示されたものを実際にさわったり、今はもうほとんど使われていない「蚊帳」を見たりしながら、学芸員さんのお話を伺いました。その影響もあってか、その後、自由読書の時間に関連図書を見ている子もいました。よい学びができたようです。

